



税金と暮らしのつながり

学校法人 高野山学園 高野山高等学校 三年 疇地 れいな

私たちが日常生活を送る上で欠かせない存在である税金について考えてみました。税金とは、国や地方自治体の収入源として使われ、公共サービスや社会保障などの様々な事業を支える財源となるものです。

まず、税金が暮らしに与える影響として挙げられるのが、公共サービスの充実です。小さい頃に遊んでいた公園の遊具・グラウンド、家の周りはもちろん普段車や徒歩で通る道路や橋などのインフラ整備。学校、図書館、病院など、私たちの利用する施設やサービスが整備されるのです。これらは何気なく、ごく当たりまえのように使われ、当たりまえの環境となっています。そしてこれにより、快適な生活環境を享受することができます。

また、税金は教育の充実にも繋がっています。税金を納めることにより税金を元に教育施設が運営され、私たちは無償で教育を受けることができます。そして、教育は私たちの未来を担う重要な要素の一つであり、これによって、誰もが平等に教育を受けることができ、将来に向けた可能性を広げることができるのです。

さらに、医療の面では税金により、国民全員が一定水準の医療サービスを受けることができます。中でも、社会保障制度に充てられることも大切です。高齢者や障がいをもつ方や低所得者など、生活に困難を抱える特別な支援が必要な人々への支援も行われます。これにより、誰もが安心して生活できる社会を実現することが目指され、命を守るための体制が整えられているのです。

最後に、災害対策にも税金は必要です。災害が発生した際には、迅速な復旧活動や被災者支援が行われます。これは税金によって可能になるものであり、私たちが安心して生活を送ることができる要因の一つです。

税金の使われ方には様々な意見があるかと思えます。そしてそれぞれの税金には種類があり、それなりの理由や目的があります。このことを意識することで、私たちは社会の一員としての責任を感じることができるのではないのでしょうか。税金は私たちの共通の負担であり、社会を支える大切な要素です。税金と暮らしの繋がりは、日常の中で感じるものが少なすぎるかもしれません。しかし、税金がなければ私たちの生活は成り立たないのです。税金の重要性を理解し、納税の義務を果たすことは、私たち一人ひとりの責任です。これからは自分自身、税金に対する理解を深め、よりよい社会の実現に貢献していきたいと思えます。